

家庭学習は「マイゴールチャレンジ」!

『60・90』から『マイゴールチャレンジ』へ



鹿児島県教育委員会

鹿児島県教育委員会ではこれまで、学力向上に向けた取組として、小学校では60分間、中学校では90分間の家庭学習時間を目安とする**家庭学習「60・90運動」**を呼びかけてきました。家庭学習の時間を確保することはもちろん大切ですが、子供たちが「何を」「どのように」学習するかをより意識し、学習の質を大切にしてほしいことから、新たに**家庭学習「マイゴールチャレンジ」**を展開していきます。

家庭学習「マイゴールチャレンジ」

児童生徒にとっては、家庭学習*の目標や内容、進め方等を自分で決めて、目標達成をめざすこと、学校と家庭にとっては、児童生徒のチャレンジを促し、支援することを表しています。

* 家庭を含む学校外での学習を「家庭学習」と表現しています。

自分のマイゴールを決めて、その達成に向けてチャレンジ!



授業で疑問に思ったことを、家でもう少し詳しく調べたいな。

授業でよく分からなかった問題を、家でもう一度解いてみよう。



授業中に書いたノートを見ながら、もう一度内容(何を学んだか)や学び方(どのように学んだか)を振り返ってみよう。

なぜ「マイゴールチャレンジ」が必要ですか?

子供たちの個性や能力を伸ばすための重要な機会となるからです。



自分にとって必要な目標を決めて、それをどのように達成するかを見通し、調整しながら取り組む家庭学習には、次のような効果が期待できます。

① 自分の気持ちや行動を上手にコントロールする力の育成

・自分で計画を立て、教材を選び、学習時間を設定しながら計画的に学習を進めることで、自律的な学習能力が養われます。学習が習慣となり、無理なく継続できるようになります。

② 興味関心の深化・弱点の克服

・学校の授業だけでは触れられない分野や、個人的に興味のあるテーマについて深く掘り下げて学ぶことができます。
 ・苦手な分野や理解が不十分な内容を重点的に学習することで、学力のバランスを整えることができます。

③ 創造性や思考力の育成

・問題解決や探究的な学習を通じて、創造性や論理的思考力を養うことができます。

学校の学習とつながる家庭学習「マイゴールチャレンジ」

小学1年生から「マイゴールチャレンジ」に取り組んだほうがよいですか？

発達の段階に応じて、目標を決めながら「マイゴールチャレンジ」に取り組むことが大切です。



小学2年生頃までは、学校から指示された課題を中心に、目標時間等を決めながら取り組みます。

基礎・基本の定着を図るとともに、望ましい学習習慣を身に付けていきます。

小学3年生頃からは、学校から指示された課題だけでなく、内容や進め方等を自分で決めて、目標達成をめざす学習に取り組みます。

状況に応じて計画を見直しながらかみ取り組むなかで、個性や能力を伸ばしていきます。

保護者として、どのように関わればよいですか？

発達の段階に応じて、

① (できるだけ)一緒に目標を確認する。

② そばで見守る。

③ 取組を見届ける。

そのときに、

★認めて・ほめて・自信をもたせる！

★励まして・自己決定を促す！ ことが大切です。



親子で一緒に



今日は、どんなことに取り組みたいかな。

そばで見守り



どんな計画で進めたら目標達成できそうかな。

取組を見届け



計画を立てて取り組んだことを、家族や先生に見てもらおう。

家庭学習の内容や進め方等については、学校でもアドバイスしていきます。親子で時々語り合いながら、子供自身ができそうなところから少しずつ取り組むことができたらいいですね。

「マイゴールチャレンジ」はどのようなことをすればよいですか？

学校での学習とつながる取組が大切です。宿題の内容や量を見ながら、チャレンジしたい内容を計画的に取り組みましょう。



「マイゴールチャレンジ」の例

- 学校から指示された課題をやりとげたり、漢字練習や音読、計算練習を継続的に取り組んだりする。
- 授業で分からなかった問題を解いたり、さらに難しい問題に挑戦したりする。
- 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを「自分ノート」にまとめる。
- 教科書やノートを見ながら、次の授業で学習する内容を予習する。
- 教科で学習したことを生かして、発展的な学習に取り組む。
- 授業の内容や日常生活で気になることや興味のあることについて、図書館や博物館などを活用しながら、とことん探究する。